

「転落災害」を防止するための「見える化」



『 一歩踏み出せ！

取り組もう 安全の確保 』



「見える」安全活動コンクール

1 躯体工事中の作業床

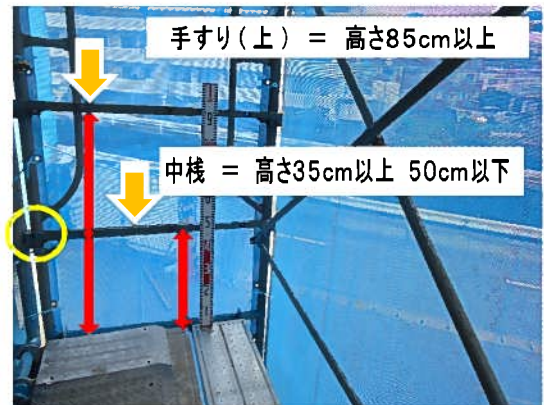
型枠と足場の間隔 = 30cm 以下



型枠と足場の間隔 = 30cm 以下

2 墜落防止措置 手摺の高さ

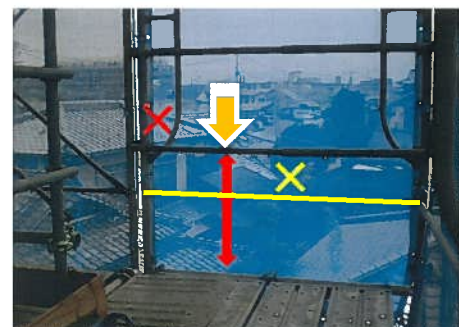
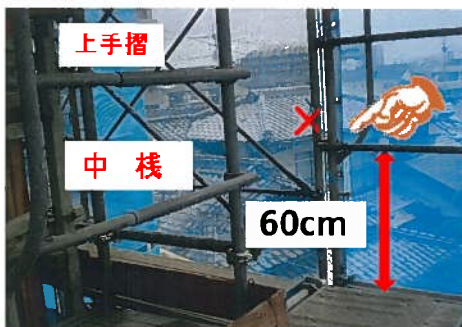
枠組足場の妻面(エンド)の措置



鳥さん！
中棧の高さが違っています！
この位置は 60cmになります！



下残と同じ高さに
取付けないでください！



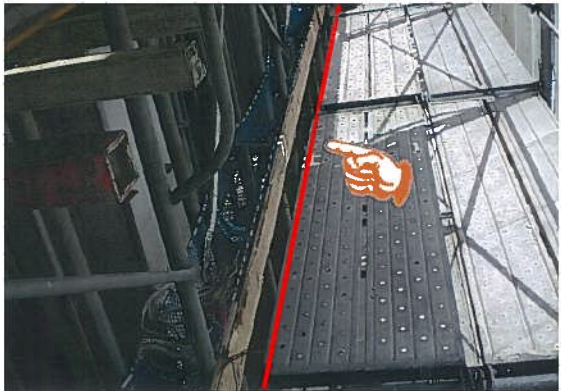
3 墜落防止 & 物体の落下防止を兼ねる幅木



躯体側に幅木 高さ H=15cm以上



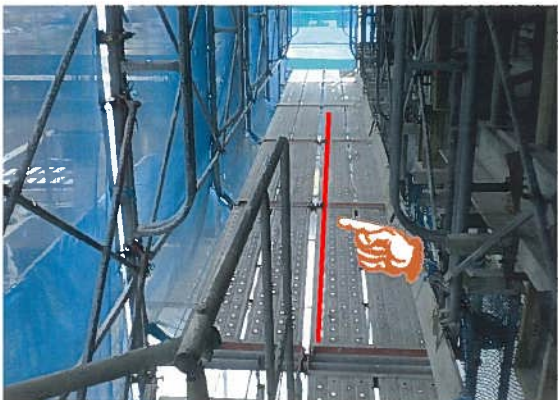
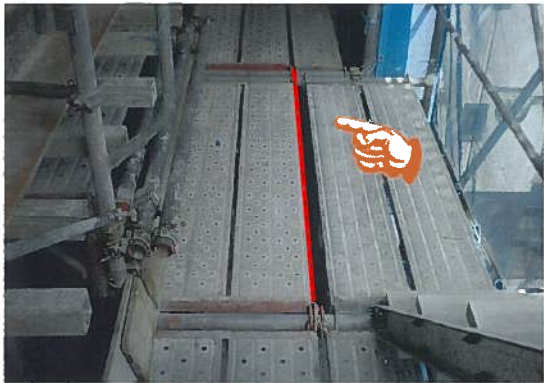
幅木と作業床のすき間がないように
幅木の取付方と作業床の位置を調整して下さい！



幅木と作業床の隙間から物が落ちます！



昇降階段周りやメイン通路などは
作業床が動き易いので固定してください！



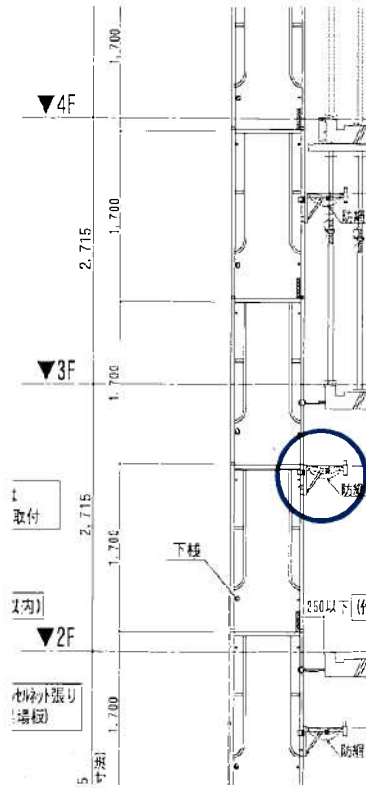
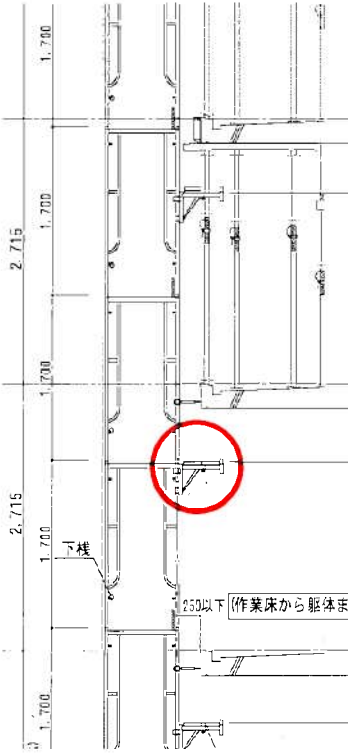
4-1

物体の落下防止措置

幅木(10cm以上)
メッシュシート
防 網
落下防止柵(足場板)

【廊下、バルコニー】
防網の場合

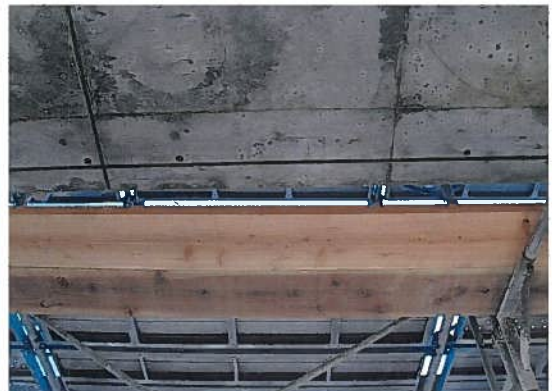
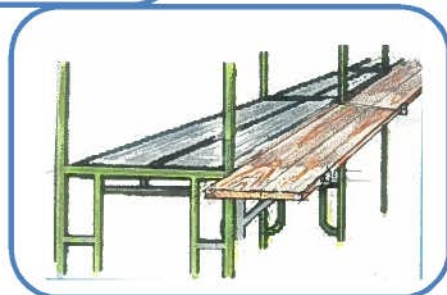
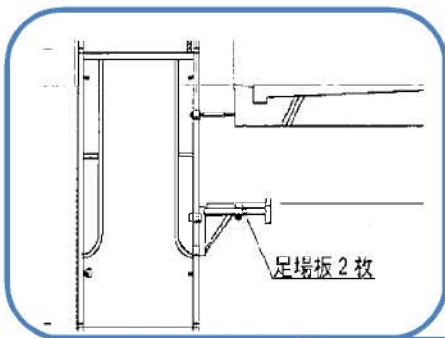
【廊下、バルコニー】
足場板の場合



単管パイプ手摺を
取付けてください！



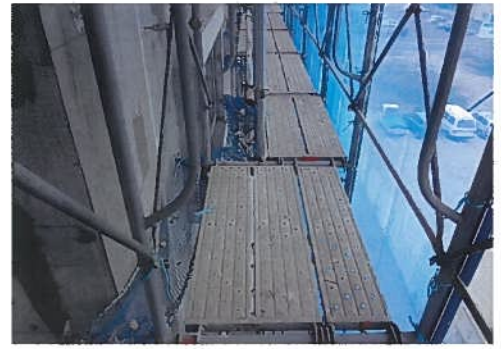
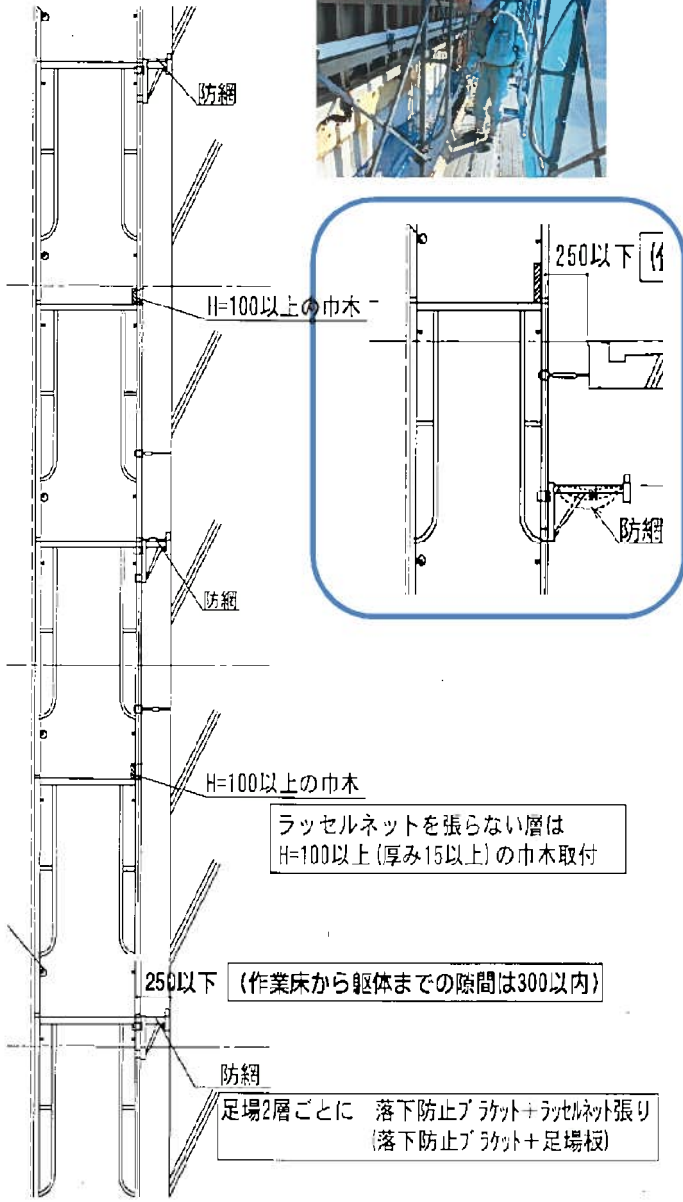
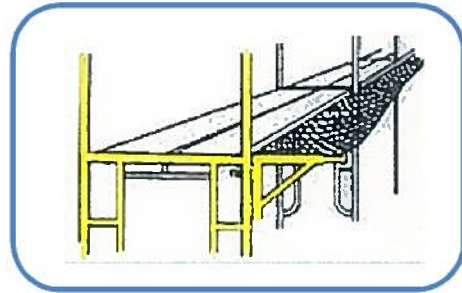
層間養生 建柱2層毎に
落下防止柵(足場板)を設置します！



物体の落下防止措置



層間養生 建柱2層毎に防網を設置します！

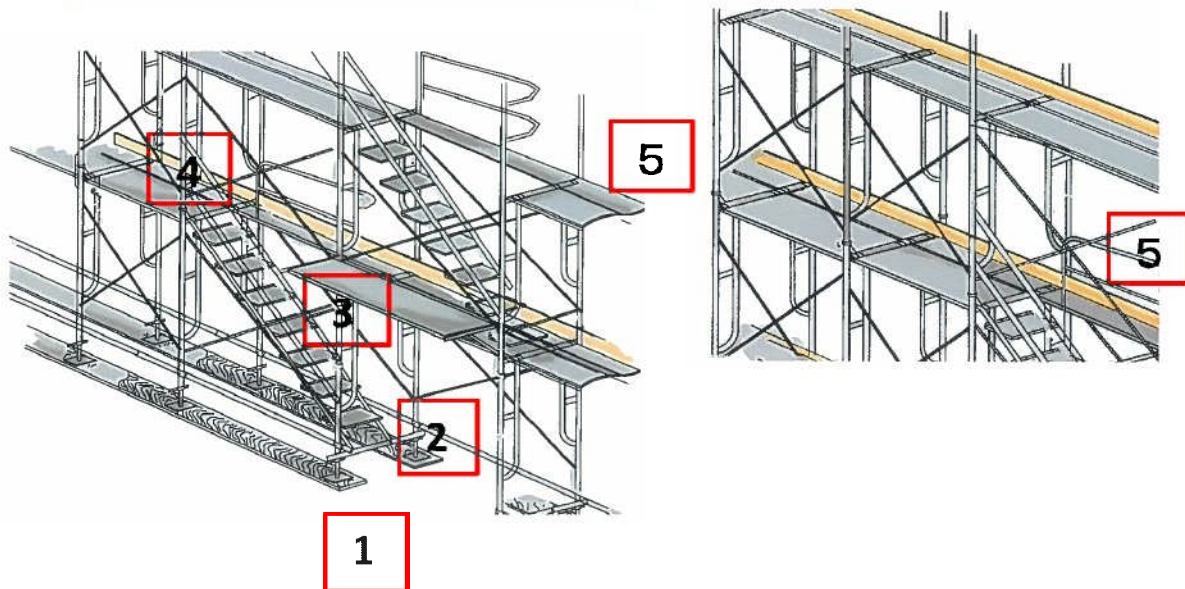


層間養生がないと、人も物も“真っ逆さま”に落ちてしまいますよ！



5

足場を確認しましょう！



1

足場出入口

出入口の上部にブラッके&鋼板底を取付けます！

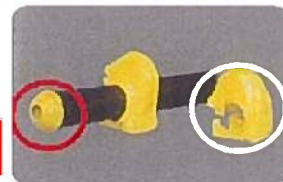


足場の出入口のトラテープは、わかりやすいですネ！

2

単管のエンドやクランプの養生をします。

単管エンドキャップ&クランプカバー



単管パイプが出すぎですネ！



3

下から昇降階段を見上げる

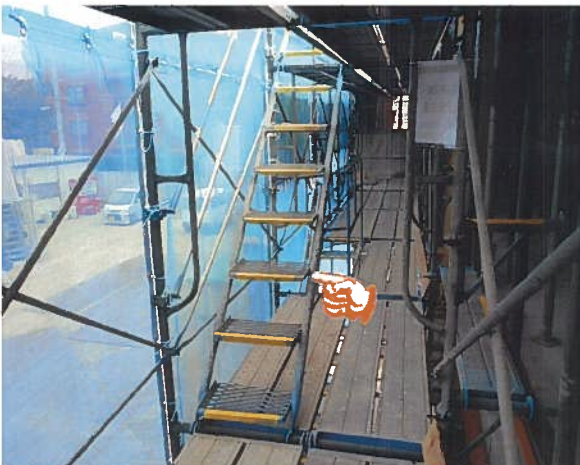


上から昇降階段を見下ろす



考えましたね！

昇降階段のステップ先端につまづき防止のため、黄色のテープ(ノンスリップ)を貼ってみました！



4

階段から躯体渡りの方に進む

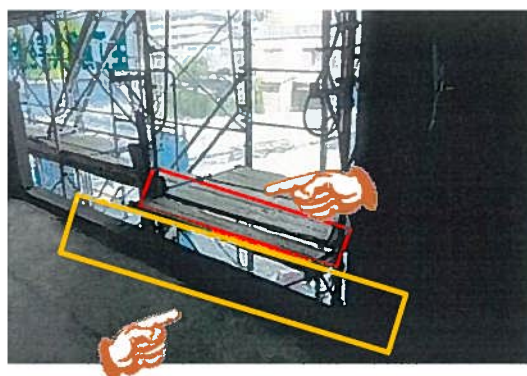


5

躯体渡りから昇降階段の方を見る

墜落・転落(つまづいて)の要因を無くすため！

渡りは、段数を少なくするため広くして下さい！



このすき間は、コンパネ等で塞ぐ！

渡りは、段数を少なくするため広くして下さい！



ステップ段差が大きいので
つまづかないように昇降して下さい！



6

階段室 踊場側の墜落措置

プラスOne 階段室側に墜落防止手摺を設置しています。



層間養生 建柱2層毎
落下防止柵(足場板)を設置

墜落防止手摺のクランプ等の突起個所には
マルチカバーで養生をしています！

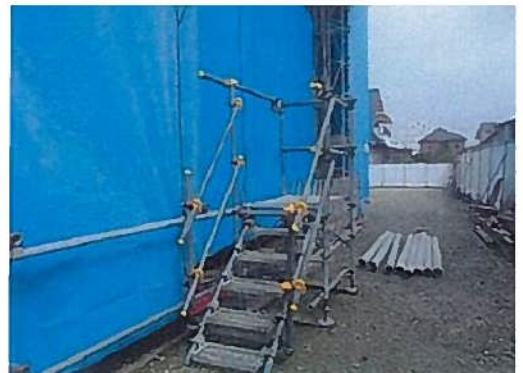


現場所長の優しさが出ています！



7

ロングエレベーター 昇降階段 クランプや突起個所をカバーで養生

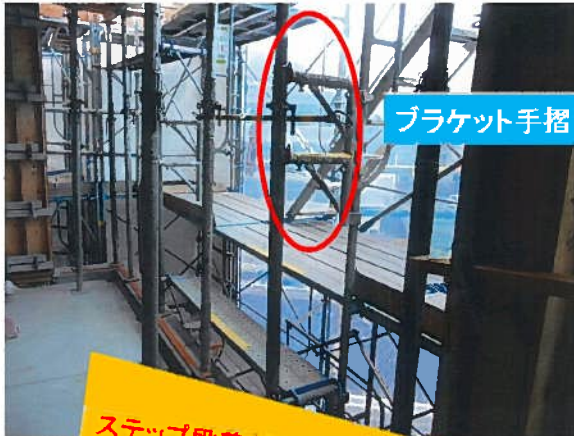


8

足場から躯体への渡り

中間階の状況

躯体工事中 型枠サポートがある場合

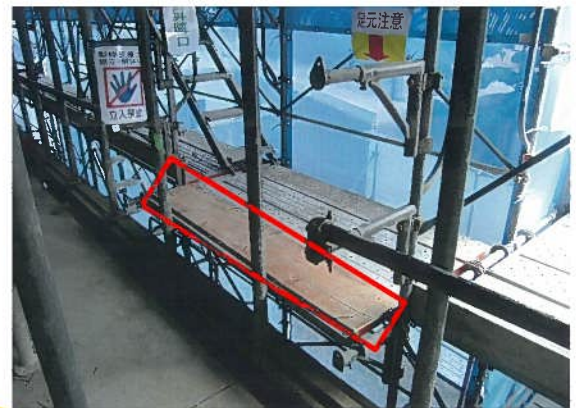
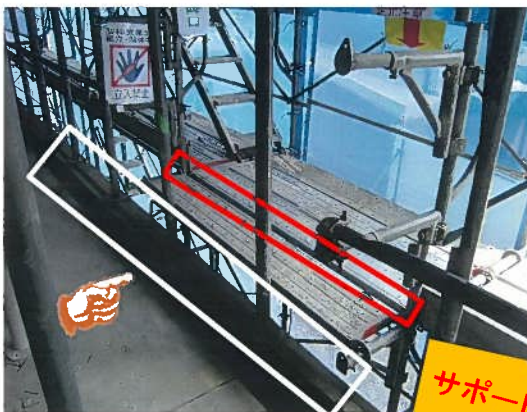


ブラケット手摺

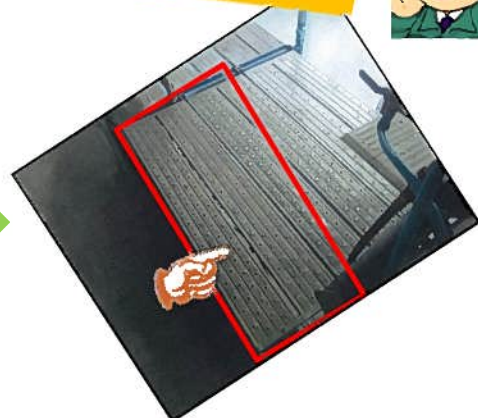
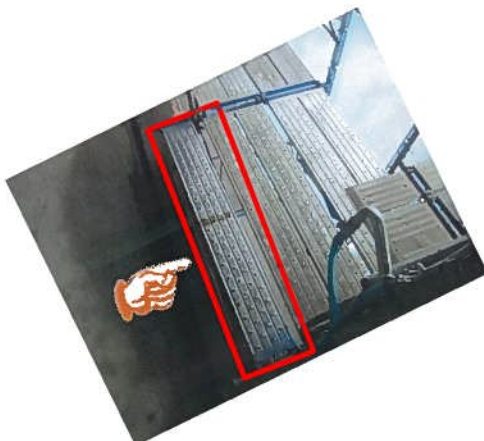
ステップ段差が大きいため
つまづかないように昇降して下さい！



作業床と躯体の渡りに出来る
隙間につまづかないように
コンパネ等で塞いでください！



サポートが取れたら
渡りの鋼板を広いサイズに変更して下さい！



9-1

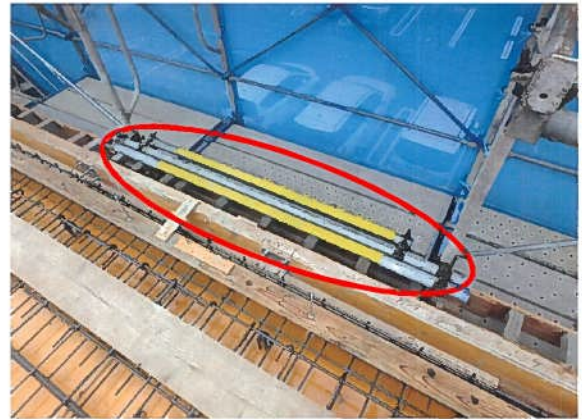
足場から躯体への渡り

躯体工事中 屋上階の状況

躯体渡りの両サイドに
ブラケットの手摺を取付ける！



躯体渡りの単管パイプの天端に
ノンスリップテープを貼る！



躯体工事中 屋上階の状況



コンクリート打設状況



安全意識が高いです！
壁差筋頭部の養生カバー！

9-2

足場から躯体への渡り



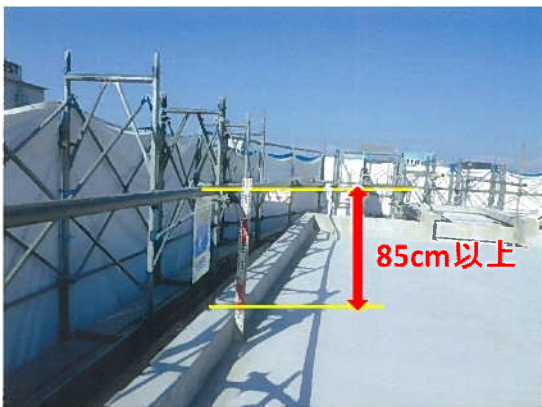
最上階(RF)コンクリート打設完了後の状況



4隅の火打ちパイプの養生をして
頭上注意の表示板を取り付け下さい！



最上部の層間養生が防網になっていますので、
屋上階側からの墜落・転落措置が必要です！



安全帯使用

作業床が狭くなっています
注意！

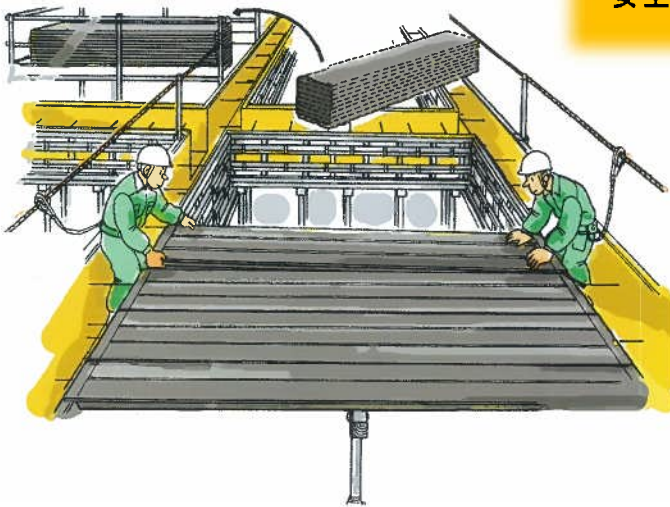


足場の先の方が狭くなっています。
安全帯の使用をお願いします！

10-1

型枠組立作業（梁&スラブ）ファブデッキ敷き込み

安全帯は2丁掛け安全帯を使用し
敷込完了まで親網を外さないでください！



ファブデッキ敷込作業時は、吊荷の下に人が入らない様に
立入禁止措置(表示板・上下作業禁止)を行って下さい！

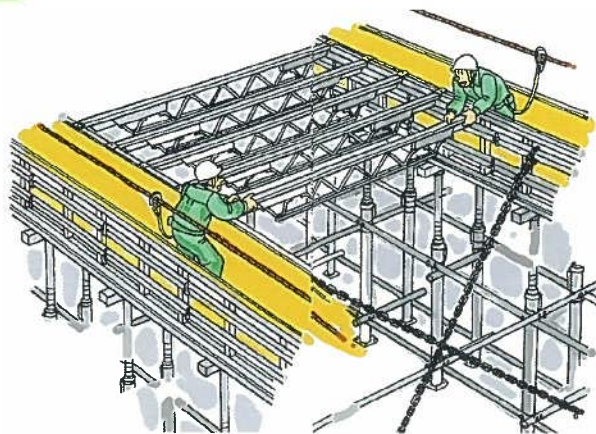
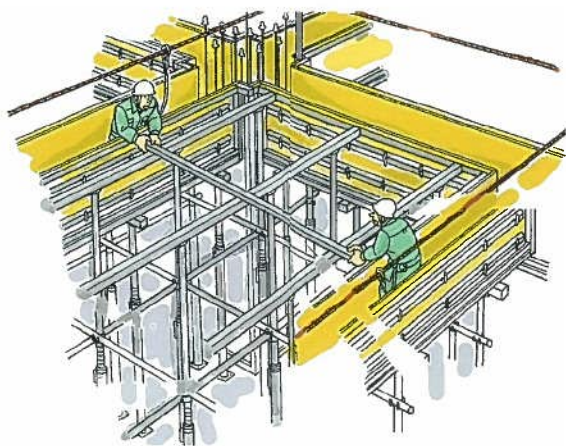
ファブデッキの玉掛けは
トラス接点でウェブ筋をまたいで フック玉掛けを行って下さい！



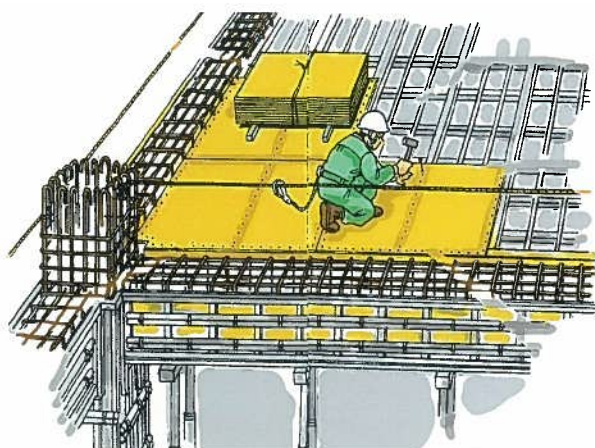
10-2

型枠組立作業(梁&スラブ) 床合板張り

スラブ段取り「根太やペコビーム取付」作業は、
必ず!“親綱”を張って“安全帯”を使用する!



スラブ 合板張作業は、
必ず!“安全帯”を使用して、前向き姿勢で作業する!



合板張り作業が完了するまで、安全帯を確実に使用して下さい！
特に、スラブ端部は前向き作業を徹底して下さい！



合板張り作業の昇降は、
立馬や足場からの躯体への渡り等を設置して下さい！



スラブへ昇り降りは、
型枠をよじ登るようなことは やめて下さい！

型枠材荷揚げ開口 すき間 & 隙間板の方法



この状態では危険ですネ!

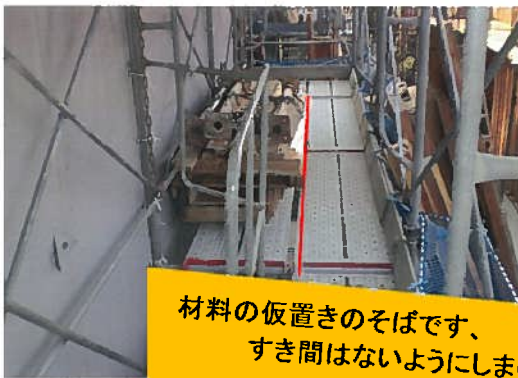


合板の掛代が少ない、強度に問題があります!



開口部注意の表示までしましょう!

型枠材の仮置き と 足場作業床のすき間



材料の仮置きそばです、すき間はないようにしましょう!



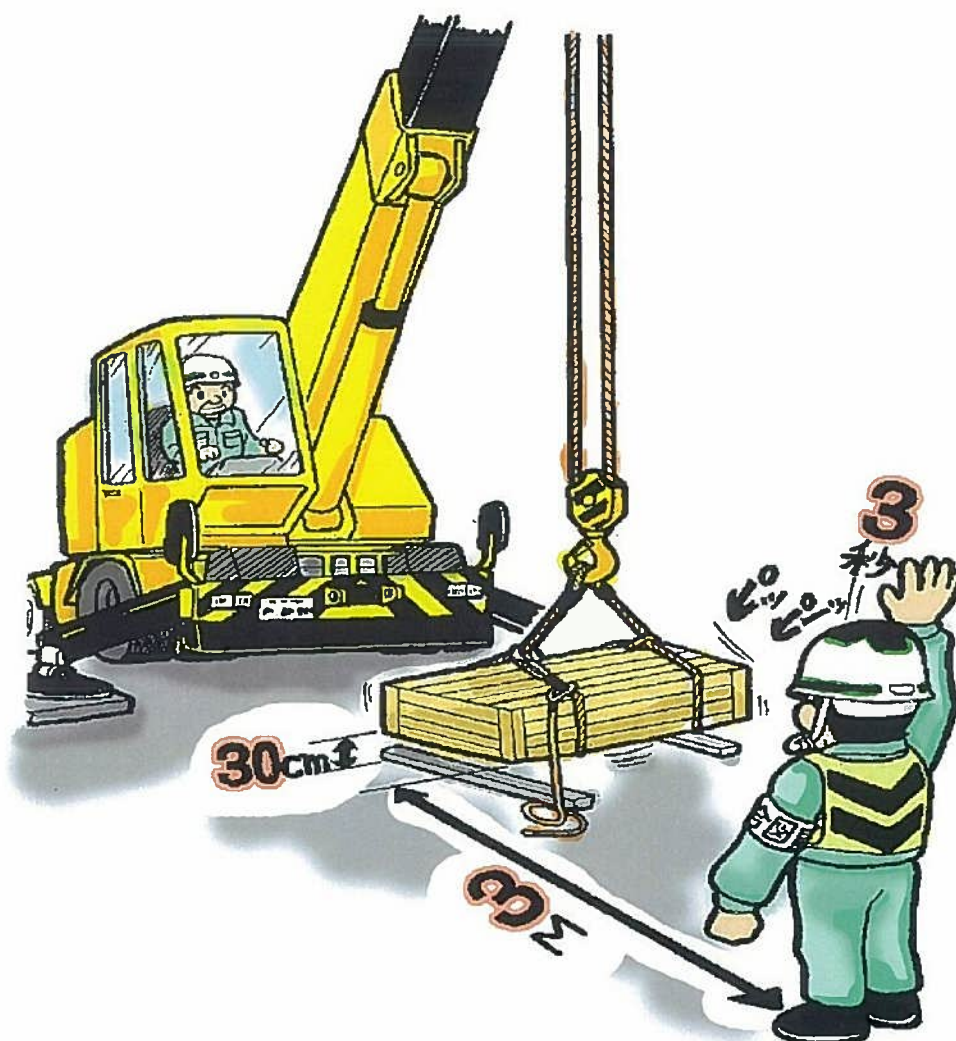
すき間が大きすぎますよ!



すき間が大きすぎますよ!

3・3・3運動

クレーン作業では3・3・3運動を徹底しよう



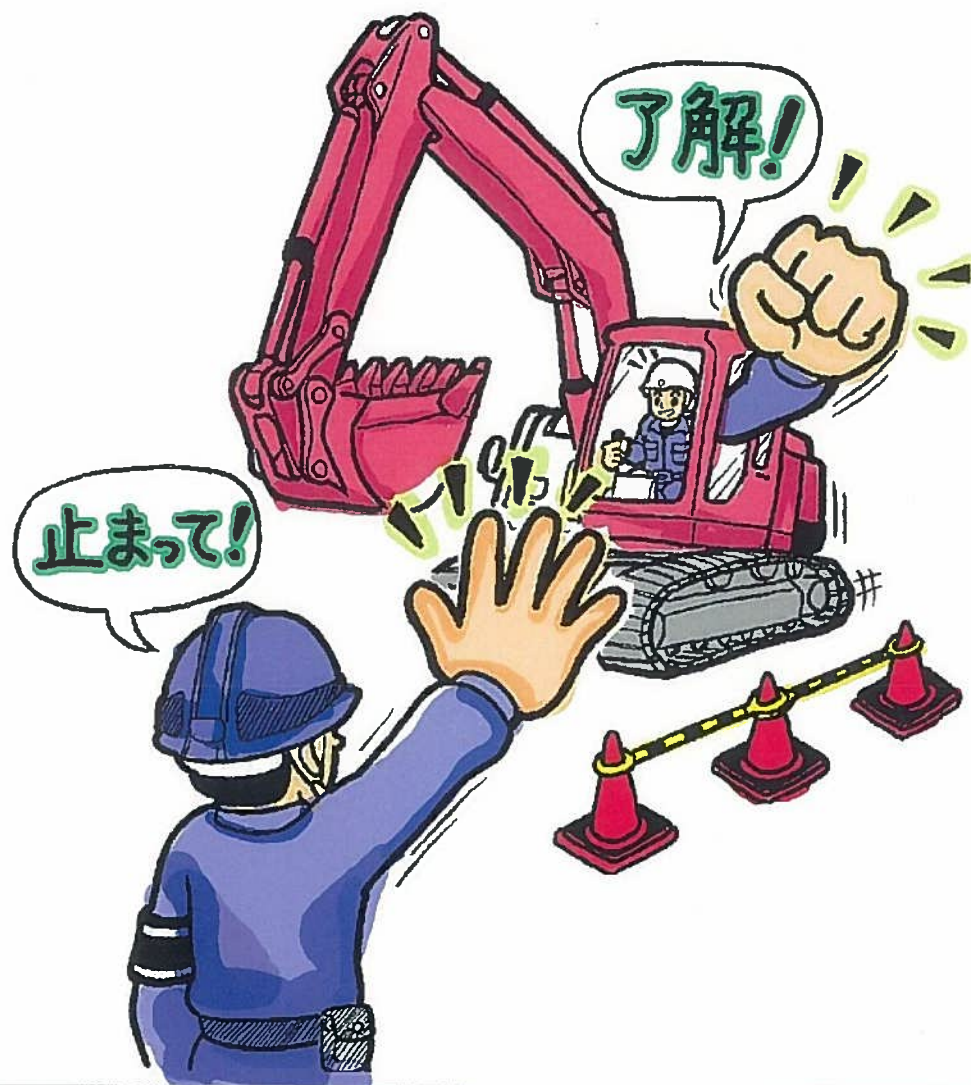
- ・ 玉掛けして3秒間待つ … 合図するまで3秒間待つんだぞ
- ・ 合図は3 m離れる … 合図は吊り荷とオペレータが見える位置で
吊り荷から3 m離れよう
- ・ 地切りは30 cm … 吊り荷が地面から30cm上がったところで
一度停止して、吊り荷の安定を確認しよう

移動式クレーンの安定のため、安定荷重を守ろう！

※ 定格総荷重×80% ≥ 吊り荷重量 + フック重量 + 吊り具重量

【グッパ-運動】

機械の周辺などではグッパ-運動を徹底しよう

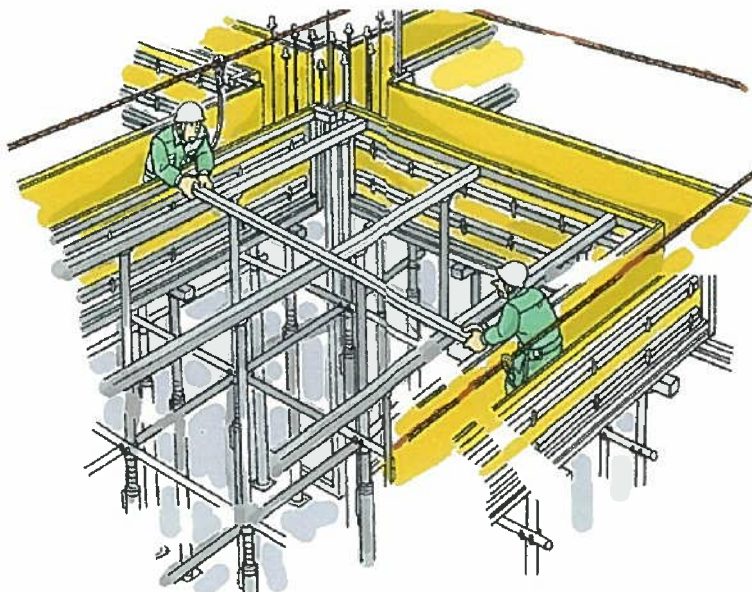


機械の周辺を通ろうとするときの『グッパ-運動』のしかた

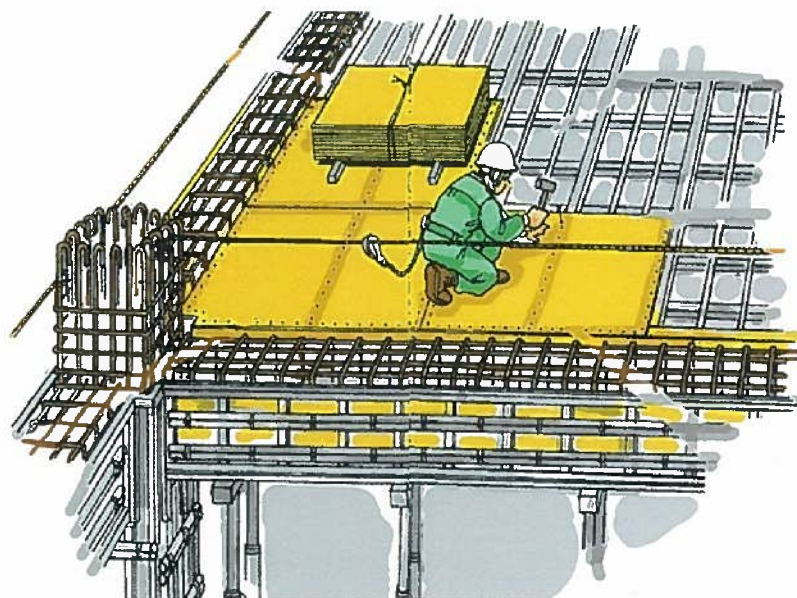
1. (通行者) オペレータに … パーを出す (オーイ通りたい)
2. (オペレータ) 通行者に … パーを返す (良し。わかった)
(オペレータは機械を止める)
3. (オペレータ) 通行者に … グッを出す (通ってもいいぞ)
4. (通行者) オペレータに … グッを返す (ありがとう。通るぞ)

型枠組立作業（梁・スラブ）

スラブ段取り「根太やペコビーム取付」作業は、
必ず！“親綱”を張って“安全帯”を使用する！

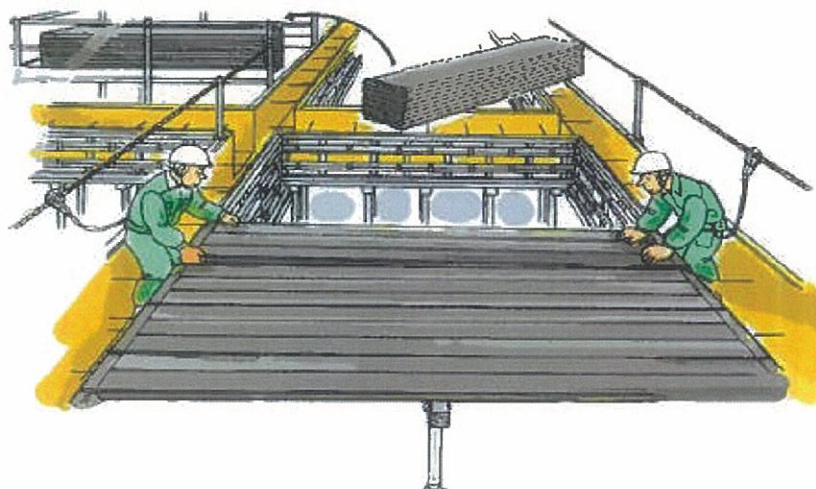


スラブ 合板張作業は、
必ず！“安全帯”を使用して、前向き姿勢で作業する！



型枠組立作業 デッキプレート敷(梁・スラブ)

安全帯は2丁掛け安全帯を使用し
敷込完了まで親網を外さないで下さい！



ファブデッキの玉掛けは
トラス接点でウェブ筋をまたいで フック玉掛けを行って下さい！

ファブデッキ敷込作業時は、吊荷の下に人が入らない様に
立入禁止措置(表示板・上下作業禁止)を行って下さい！





ゼロ災でいこう よし!



鳶工

安全帯 よし!



鳶工

安全帯 よし!



タイル工

安全帯 よし!



吹付工

玉掛けよし!



鳶工

安全帯 よし!



型枠工

安全帯 よし!



鉄筋工

玉掛けよし!



鉄筋工



クレーンオペ

アウトリガー全張り出しよし!



圧接工

アセ&酸素 ポンベ固定よし!